

極域・寒冷域研究連絡会のご案内

極域・寒冷域研究連絡会より、2007年春季大会（東京）での開催内容のご案内をいたします。

日時：2007年5月13日（日）（大会第一日目）

17：15～ 2時間程度

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
会議室309（大会B会場）

話題：

1. IPY（国際極年）2007-2008について

「IPY2007-2008 大気科学プロジェクトー日本の貢献」

山内 恭（国立極地研究所）

2. 南極観測報告

「2007年夏、昭和基地は国際空港だった」

平沢尚彦（国立極地研究所）

「南極の空を飛び回ったのだ」

原 圭一郎（福岡大学）

今回の極域・寒冷域研究連絡会は、極域観測についての特集です。まず、IPY（国際極年）2007-2008の話題を提供して頂きます。IPYは、極域での様々な過程や、それらの地球全体への影響についての最先端の科学を追及するなどの目的を持った国際的な極域の科学計画です。2007年3月1日から2009年3月1日までの間、南北緯度60度から90度の範囲で計画されてい

ます。このIPYについて、その歴史、今回のIPYの特色、日本の貢献について等の話題を提供して頂きます。後半では、今回の南極観測の夏隊で行われた観測について、実際に南極観測に携わった方々から、最新の成果を紹介していただきます。

代表：山崎孝治（北海道大学地球環境科学研究所）

世話人：

平沢尚彦（国立極地研究所）

中村 尚（東京大学大学院理学系研究科）

浮田甚郎（千葉大 CEReS）

高田久美子（地球環境フロンティア研究センター）

阿部彩子（東京大学気候システム研究センター）

佐藤 薫（東京大学大学院理学系研究科）

本田明治（地球環境フロンティア研究センター）

齋藤冬樹（東京大学気候システム研究センター）

猪上 淳（地球環境観測研究センター）

高谷康太郎（地球環境フロンティア研究センター）

問い合わせ先：

地球環境フロンティア研究センター 高谷康太郎

http://polaris.nipr.ac.jp/~pras/coolnet/cl_index

Tel：045-778-5526 Fax：045-778-5707

E-mail：takaya@jamstec.go.jp